

頼政地蔵

国道一六三号と伊賀コリドールロードが交差する長田交差点の近くに「頼政地蔵」と呼ばれる石仏が祀られています。

かつてこの地蔵は、子どもの夜泣き封じに効果があるとして焼香が絶えなかったそうです。しかし、その一方で腹痛を起こす地蔵として恐れられていました。そのため、田の中に埋もれていくのを戻す人もおらず、田から頭部のみが見えている状態だったそうです。

昭和41（1966）年、道路工事に際して掘り起こされた地蔵は、四角柱の自然石で、各面に二体ずつの線刻仏が確認できます。彫られているのは、十一面観音や閻魔王とされていますが、石仏表面の磨滅が進み、判然としません。

地蔵の名前になっている「頼政」は、平安時代後期の源氏の武将で、『平家物語』には妖怪の鶴を退治する弓の名手として登場します。頼政は、平清盛を中心とした平氏政権下においても中央政界にとどまり、当時の源氏としては異例の出世を遂げます。しかし、治承4（1180）年、平氏追討の兵を挙げて敗れ、宇治の平等院で自害します。

この地蔵は、江戸時代に編さんさ

れた地誌『伊水温故』に「頼政石塔」として掲載されていることから、この頃には頼政にまつわる石仏として、広く知られていたようです。『伊水温故』は、都から逃げ落ちた頼政が、この地で野伏に襲われ討死したらしいが、疑わしいと記されています。頼政の平等院での自害が史実だとすると、誰が何の目的で地蔵を製作し、この辺りに安置したのでしょうか。有名な武将の名前を持つ謎めいた石仏です。



▲頼政地蔵（東屋の中の右側）

文化財課歴史資料係

☎ 52・4380 FAX 52・4381

明日に向かって ～差別をなくしていくために～

人権について考えるコラムです。

しつけと体罰 —阿山支所住民福祉課—

数カ月前、ある地区の人権啓発地区別懇談会に参加し、「しつけのために体罰はやむを得ないか？」というテーマで話し合いました。参考資料として添えられていた「人権問題に関する伊賀市民意識調査」を見ると、「しつけのために体罰はやむを得ないか」という問いに対し、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」と答えた人の合計が、2009年度は45.2%、2014年度は27.3%と記されていました。「しつけのための体罰はダメ」と考える市民が増えているという結果を嬉しく思った一方、しつけと体罰の境目はどこなのか迷いました。

私は今、子育て真っ最中ですが、自分の子育てを振り返ると課題がたくさんあります。親としてこう育ててほしいと伝えても、子どもが反抗して言うことを聞かない時がたびたびあり、しつけとして、必要以上にきつい言葉で叱ったり、時には思わず叩いてしまったりしたこともありました。でもそれは「し

つけていた」のではなく、「自分の感情にまかせて怒っていた」のだと思います。

4月1日から「児童虐待防止対策の強化を図るための児童福祉法等の一部を改正する法律」が、一部の規定を除き施行され、親権者などが「児童のしつけに際して、体罰を加えてはならない」と明記されました。

忙しい子育ての生活の中で、常に冷静でいるのは大変です。親だからこそ冷静に子どもに言葉で伝えるのが難しいこともあるかもしれません。そうした時、育児の負担を一人で抱え込まずに、家族や周りの人に相談することは大切だと思います。

子どものために、親である自分も子どもと共に成長し、子どもがどう感じるかを大切にしながら、子どもの未来に向けて子育てできる社会を実現していきたいです。

■ご意見などは人権政策課 ☎ 22-9683 FAX 22-9684 ✉ jinken-danjo@city.iga.lg.jp へ



芭蕉翁記念館だより

春の風物詩といえば花見。桜が咲くと気分も華やかになりますね。

貞享5（1688）年、「笈おいのこぶみ小文」の旅の際に芭蕉さんは、弟子の万菊丸まんぎくまる（杜国とこく）とともに伊賀を出発し、桜の名所の吉野へ花見に行きました。

よし野にて桜見せふぞひ檜きの木笠

「檜の木笠」とは、檜の薄板で編んだ晴雨両用の笠のことです。芭蕉さんはこの笠に「吉野に着いたらお前にも桜を見せてやろう」と言っており、花見に行く浮かれた気分がうかがえる句です。

【問い合わせ】

- 文化交流課
☎ 22-9621 FAX 22-9619
✉ bunka@city.iga.lg.jp
- 芭蕉翁記念館 ☎ 21-2219

公共交通を利用しましょう

来年春からJR関西本線でICカードが利用可能に！

2021年春にJR関西本線(加茂～亀山間)でICカード利用が可能になると、JR西日本から発表がありました。これまで市や各種団体では、利便性向上に向けた取り組みの1つとしてICカード利用可能エリアの早期拡大を要望し、これが実現しました。

ICカードを利用すると、切符を買ったり小銭を用意するわずらわしさがなくなるほか、カードを機械に近づけるだけなので乗換などもスムーズになります。

ICカード利用可能エリアの拡大をきっかけに公共交通を利用してぜひお出かけください。

詳しくは、JR西日本ホームページをご覧ください。

【利用開始日】

2021年春から（予定）

【問い合わせ】

交通政策課 ☎ 22-9663 FAX 22-9694



情報交流ひろば

となりまち いが・こうか・かめやま

甲賀市

亀山市

～桜めぐりで春を満喫～ 甲賀市内には桜の名所がたくさん



甲賀市内には、素敵な桜の名所が多くあります。面積が広い甲賀市では、桜の開花状況にも差があり、桜

を長く楽しむことができます。

甲賀市ホームページでは、市内の桜の名所の一部を紹介しているほか、開花状況もお知らせしています。

華やかな桜の季節に、ゆっくりと春を満喫してみたいかがでしょう。

【場所・見頃】 甲賀市ホームページ「観光コンシェルジュ」をご覧ください。



【問い合わせ】

甲賀市観光企画推進課
☎ 0748-69-2190 FAX 0748-63-4087

【問い合わせ】 甲賀市秘書広報課 ☎ 0748-69-2101

～亀山里山公園「みちくさ」春のイベント～

里山公園に生息する動植物を見て、触れることで自然への興味を



深めてもらうイベントを開催します。池干し体験や環境クイズ、ザリガニ釣りなど楽しいイベントが盛りだくさんです。ぜひ、お越しください。

【とき】 5月17日(日)

午前9時30分～午後0時30分

【ところ】 亀山里山公園「みちくさ」

(亀山市椿世町407-1)

※当日は亀山里山公園「みちくさ」の駐車場を利用できませんので、臨時駐車場をご利用ください。場所は亀山市ホームページ(環境創造グループ)でご確認ください。

【問い合わせ】 亀山市環境課環境創造グループ

☎ 0595-96-8095 (当日) ☎ 090-2578-5068

【問い合わせ】 亀山市広報秘書G ☎ 0595-84-5021